

2022. 5. 23

<配信枚数1枚>

報道関係者 各位

スポーツ庁が行う体カテストにおいて、男子小・中学生の体力・運動能力は過去最低
子どもたちの健康な体づくりのために、私たちにできることは何か？
スポーツ健康科学部・上田憲嗣准教授の研究紹介動画を公開

このたび、立命館大学スポーツ健康科学部の上田憲嗣准教授が取り組む、子どもの体力・運動能力向上に関する研究「動作コーディネーション能力」の研究紹介動画を公開しました。

2021年、スポーツ庁が実施した全国体カテストにおいて、男子小・中学生の体力・運動能力は過去最低を記録しました。小・中学生全体をみても、2019年以降、体力・運動能力が大きく低下しており、問題視されています。原因は、テレビ・スマホ・ゲームなどを視聴する時間が増えたことや、コロナ禍による運動機会の減少であると考えられており、早急な対策が必要です。

今回の動画では、男子小・中学生の体力・運動能力低下の現状や動作コーディネーション能力の解説、具体的なトレーニング内容などを上田准教授が解説しています。

「男子小・中学生の体力・運動能力は過去最低！？」
子どもたちの健康な体づくりのために、いま私たちにできることは何か？」

URL: <https://youtu.be/ftH2P-WaUas>

動画: 5分 24秒

内容(抜粋):

- ・男子小・中学生の体力・運動能力低下について
- ・動作コーディネーション能力について
- ・コーディネーショントレーニングについて

**【立命館大学スポーツ健康科学部 上田 憲嗣(うえた けんじ) 准教授】**

鳴門教育大学大学院修了。吉備国際大学准教授などを経て、2015年から立命館大学スポーツ健康科学部准教授を務める。主な研究テーマは「発育発達期における動作コーディネーション能力の理論的・実践的研究」「スポーツタレントの育成及びアスリート育成パスウェイの構築」など。

本リリースの配布先: 京都大学記者クラブ、草津市政記者クラブ

●取材・内容についてのお問い合わせ先

立命館大学広報課 担当:名和

TEL.075-813-8300 Email. r-koho@st.ritsumei.ac.jp